

二百三十人がおとなの仲間入り

新成人の集い

「新成人の集い」が一月十三日、二百三十人がおとなの仲間入りを中央公民館で行われました。今年はいし、集いには百八十一人の皆さんが出席しました。



恩師と記念撮影

オープニングセレモニーでは、中学校時代の思い出のスライドが上映されると、なつかしい映像に会場のおちこちから歓声が上がりました。

続いて、新成人の四人がピアノの伴奏で、成人になった決意や思いを詩の朗読により、表現しました。

その後、式典や恩師を囲んでの立食パーティーが行われ、出席者は、何年振りかで再会したなつかしい友人と近況や将来について語り合うなど、希望に満ちた輝きであふれていました。

寄附

笠松キリスト教会から十二月二十四日、「町心身障害者小規模授産所の活動に役立ててください」と、デジタルカメラ一式の寄贈がありました。

公共施設巡回町民バス 運行継続にご協力を！

運行協力募金箱(一乗車100円を目安)を3月1日(土)から設置しますので、ご協力をお願いします。



平成五年八月の試行運行以来、皆さんにご利用いただいている公共施設巡回町民バスは、年々利用者が増加し、平成十三年度には約十三万人となっております。

一日平均三百六十人の皆さんにご利用いただいております。この運行には年間千三百万円以上の経費がかかっています。

現在、町では財政健全化に取り組んでおり、巡回町民バスの運行継続と無料運行のあり方についても見直しを検討しています。

このようなことから、巡回町民バスの運行を皆さんの善意で継続させるために、「運行協力募金箱(一乗車百円を目安)」を三月一日(土)から設置しますので、ご理解ご協力をお願いします。